

戸塚区連合町内会自治会連絡会3月定例会 議 題 説 明 書

戸塚消防署

議題名: 初期消火器具等設置費用の一部を補助します。
設置協力店舗への初期消火器具の設置について。

【内容】

自治会町内会が設置する初期消火器具等を設置・更新する費用の一部を補助する事業を行っています。

また、令和3年度からは、既存の初期消火器具等を対象として、劣化したホース等の器材の一部分のみを更新する費用の一部を補助する事業を新たに行います。

1. 補助額 (1) 「新規設置」及び器具全ての「更新設置」の場合
⇒ 整備費用の2/3 (上限20万円)
(2) 消防用ホースのみ等の「一部更新設置」の場合
⇒ 整備費用の2/3 (上限7万円)

2. 予定数 いずれも市内総数で、上記(1)15件、上記(2)207件 (以上、資料「表面」)

更に、自治会町内会が所有する「スタンドパイプ式初期消火器具」の設置場所として「設置協力店舗」を希望される自治会町内会を募集します。(以上、資料「裏面」)

【例年あげている議題か?】

毎年お願いしています。(昨年3月にもお願いしました。)
ただし、「新規設置」及び器具全ての「更新設置」は、一昨年と比べ補助予定数が大幅に減少しています。
また、「一部更新設置」については、今年度が2年目となります。

【何をすればいいのか?】【いつから(いつまでに)すればいいのか?】

【補助事業の申請方法・期間】

- 1 消防署備え付けの申請書に必要事項を記入の上、戸塚消防署にご提出願います。
- 2 申請期限は9月30日(金)までとなります。ただし、設置協力店舗に設置を依頼する場合の申請期限は7月29日(金)までとなります。

【その他、注意することなど】

・申請件数が、補助予定数を超えた場合は、横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針で示される「対象地域」から優先的に補助されます。

問合せ先

担当部署 戸塚消防署

担当者名 大江 道就

TEL 881-0119 FAX 881-0119

表

初期消火器具等設置費用の一部を補助します

消防局では、自治会町内会が初期消火器具等を設置・更新（器具全て）する費用の一部を補助する事業を行っています。また、令和3年度からは、既存の初期消火器具等を対象として、劣化したホース等の器材の一部分を更新する費用の一部について補助する事業を新たに行っています。

1 申請要件

下記3つに当てはまる単一の自治会町内会が対象となります。

- (1) 地域に消火栓がある
- (2) 家屋が密集し、火災が発生した場合に延焼拡大のおそれがある
- (3) 定期的に訓練を実施できる

2 申請について

- (1) 受付期間：令和4年4月1日（金）～令和4年9月30日（金）
- (2) 申請方法：申請書に必要事項を記入の上、戸塚消防署にご提出をお願いします。

3 補助率及び補助予定数について

- (1) 初期消火器具等の新規設置及び器具全ての更新設置^{※1}の場合（補助予定数：15件／市内）
初期消火器具等の整備を要する経費（税込金額）の2/3に相当する額とし、1件あたり20万円を上限とします。
- (2) 初期消火器具等の一部更新設置^{※2}の場合（補助予定数：207件／市内）
初期消火器具等の整備に要する経費（税込金額）の2/3に相当する額とし、1件あたり7万円を上限とします。

※1「更新設置」は、自治会町内会が所有している初期消火器具等が経年劣化等で使用が困難になった場合、撤去後に新たな初期消火器具等一式を設置することをいいます。

※2「一部更新設置」は、消防用ホース等の更新など器材の一部のみを更新することや既存の初期消火箱に新たに器材（スタンドパイプ・台車）を加えることをいいます。

また、所有している消火栓蓋開閉キーが旧型の場合、新型消火栓の蓋を開けられない可能性があります。既存の初期消火器具直近の消火栓が新型消火栓に変更されている場合は、新型消火栓蓋開閉キーへの更新も補助対象としております。

4 お願い

大地震発生時に火災被害が集中すると想定される地域[※]においては、特に初期消火力の強化につながる取り組みの推進が求められます。該当する自治会町内会は、積極的に初期消火器具等の設置や更新をしていただきますようお願いします。

（※横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針で示される「対象地域」）

⇒ 戸塚区内の「対象地域」：汲沢一丁目から八丁目、戸塚町が該当

5 お問い合わせ先 ※申請要件や書類等のお問合せは、戸塚消防署へご連絡ください。

戸塚消防署 総務・予防課 予防係 ☎ 881-0119

初期消火器具等とは？

初期消火器具には、初期消火箱（固定式）とスタンドパイプ式初期消火器具（可搬式）の2種類があり、消防車が進入できない道路狭隘地域等においても、消火栓にホースを直接接続し、有効な初期消火活動を行うことができる消火器具です。特にスタンドパイプ式は機動性に優れ、容易に取り扱うことができます。



スタンドパイプ式初期消火器具（可搬式）



初期消火箱（固定式）

※令和4年度予算案が横浜市会において議決されることを条件としています。

設置協力店舗への初期消火器具の設置について

自治会町内会が所有するスタンドパイプ式初期消火器具を設置協力店舗（下記2参照）に設置することができます。設置する初期消火器具については、新規購入・既存移設のいずれも可能で、新規購入の場合は、表面の補助申請と同時に行うことができます。

1 設置依頼について

(1) 受付期間：令和4年4月1日（金）～令和4年7月29日（金）

※ 期間が表面の補助金申請期間と異なりますので、ご注意ください。

(2) 依頼方法：依頼書に必要事項を記入の上、戸塚消防署にご提出をお願いします。

2 設置協力店舗（50音順） ※24店舗に設置されています。（令和4年2月28日現在）

コンビニエンスストア	サイゼリヤ	ドラッグストア	トヨタカローラ神奈川
コミュニティ・ストア	ジョリーパスタ	ウェルシア薬局	トヨタカローラ横浜
セブン-イレブン	すき家	薬クリエイト	日産プリンス神奈川
デイリーヤマザキ	瀬戸うどん	薬セイジョー	ネットヨタ神奈川
ファミリーマート	デニーズ	サンドラッグ	ネットヨタ横浜
ポプラ	伝丸	ハックドラッグ	ホンダカーズ横浜
ミニストップ	なか卯	フィットケア・デポ	横浜トヨペット
ローソン	華屋与兵衛	自動車販売店	本
ローソン+スリーエフ	はま寿司	神奈川スバル	ブックオフ
外食チェーン	ビッグボーイ	神奈川ダイハツ販売	紳士服
壺鶴堂	マクドナルド	神奈川トヨタ	AOKI
エルトリート	モリバコーヒー	関東マツダ	運輸
牛庵	吉野家	関東三菱自動車販売	ヤマト運輸
ココス		スズキ自販神奈川	

3 ご注意いただきたいこと（設置条件等）

- (1) 依頼書は、受付期間終了後、消防局予防課が一括して**店舗の本社**に提出しますので、自治会町内会から各店舗に対して、直接の設置依頼やお問合せはご遠慮願います。
- (2) **本社より設置可否の回答があります。場合によっては、ご希望に添えないことがありますので、ご承知おきください。**
- (3) 店舗に設置するには、自治会町内会と企業間で協定を締結する必要があります。（事務は消防署で支援いたします。）
- (4) 初期消火器具の設置、撤去等に係る費用は、自治会町内会の負担となります。
- (5) 初期消火器具の設置に起因して生じた損害等は、自治会町内会の責任となります。